

<b>経営管理総論B</b>		<b>教授 谷崎 敏昭</b>	
<b>科目カテゴリ</b>	<b>国際ビジネスコースの専門 選択科目, 会計ファイナン スコースの専門選択科目, 経営・経済コースの選択必 修科目</b>	<b>科目ナンバリング</b>	<b>23221202</b>

### 1. 授業のねらい・概要

グローバル化によって格差が広がり、そのために社会不安が増幅されている。企業はあくまで私たちが豊かで幸せな社会生活を営むために必要な存在である。企業だけが発展し、人間がそのために犠牲になるようなシステムはどこかに欠陥がある。本来企業は人間が社会生活を営むために必要な富の蓄積や、豊かな社会を構築するための手段としてつくられ発展してきた。この講義では、社会において企業が果たす役割について把握し、どのような目的で近代企業が構築されたのか、そのめざすべき方向はどのようなものなのかを考える。

### 2. 授業の進め方

授業は講義方式で行い、必要に応じてレポートの提出を指示する。

### 3. 授業計画

1. グローバル化と経営管理	9. IOT 戦略と AI 社会
2. 資本主義システムの本質と株式会社	10. 女性労働と少子化問題
3. シュンペーターとドラッカー	11. 生産性の向上と知識労働の管理
4. イノベーションと経営管理	12. ストレスマネジメント
5. 人的資源管理	13. 資源、環境と企業の社会貢献
6. 起業と経営管理	14. NPO と経営管理
7. 危機管理	15. 産業構造の転換と経営管理
8. 国際金融システムと仮想通貨	

### 4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

研究室のHP (<http://tyit.blogspot.com/>) にアクセスし、指示された項目について1時間程度予習、復習を行うこと。

### 5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

試験終了後に解説を行う。

### 6. 授業における学修の到達目標

グローバル化によってゆがめられた日本的経営が、今後どのような経営システムに変化していくのか見極めることが必要である。さらに AI やイノベーションによって新たに生み出される産業が、これからの日本社会をどのような方向に導いていくのか認識することがこの授業の目標である。

### 7. 成績評価の方法・基準

試験結果 70%、授業の貢献度 30%。

### 8. テキスト・参考文献

必要に応じて指示する。

### 9. 受講上の留意事項

試験ではノートの持込を許可するので、しっかりとまとめておくこと。